



出会う。見つける。 水海道。

まちを歩いて見つけた水海道の魅力をお届け。
ぜひカメラ片手に、素敵な景色を切り取ってみてください。



01

Kanto Railway



関東鉄道

水海道へのアクセスを担う関東鉄道。ふっかふかの座席に沈み込んで、景色を眺めながら、いざ水海道へ。

02

Mitsukaido Station

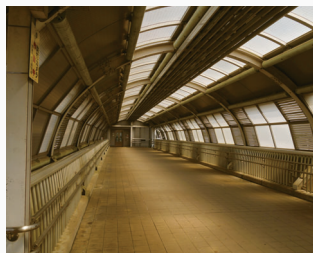


水海道駅

駅舎正面のアーチ型の姿がかわいい水海道駅。ホーム同士は、線路上を横断する形で繋がれており、そこを歩いて渡れます。なかなか見られない、線路上からの光景です。

03

Free passage of Station



水海道駅自由通路

この写真だけで場所を特定できる人は、地元の方でも案外少ないかも？ どこかSFのような雰囲気も漂うここは、水海道駅を南北に繋ぐ自由通路。半円のドーム状の空間が不思議な雰囲気です。

04

Shopping district



商店街

駅通り商店街の文字の下には、当時軒を連ねたお店の名前が。看板の字体や色使い、街灯の雰囲気までぴったり。

05

Iwami Printing



岩見印刷

大正6年創業の岩見印刷は、水海道を代表する看板建築の一つ。クラシックな雰囲気漂う建物の上には、創業当時の「岩見石版印刷所」の文字が。

06

Siwa Shrine



諏訪神社

鎮座100年を誇る諏訪神社。敷地内の大樹はなんと樹齢400～500年と推定されています。まちの変化をこの場所ですっと見守ってきたんだと思うとなんだかしみじみ。

07

46 alleys and streets



46の路地小路

水海道には46の路地小路があり、一つ一つに名前がついています。中にはこども公道なの？と思う道もありますが、マンホールがあったら公道、というのが見分け方の一つだと、観光ボランティアの皆さん。

08

Street lamps



街 灯

水海道を歩く楽しみの一つが街灯。よくみると場所によってデザインが異なっていることに気づきます。こちらはレンガのようなデザイン。他にはどんな街灯があるか、探してみてください。

09

Kinugawa riverbank



鬼怒川河川敷

高台で見晴らしも気持ちもいい川沿いは、歩くのにぴったり。まさに江戸と水海道を繋いだ、水海道の歴史と切っても切り離せない場所です。おすすめは夕日が見える時間帯。視界を遮るものは何も無い、美しい景色を見ることが出来ます。

INFORMATION

水海道の魅力を再発見するローカルメディアmeets始動します！

水海道の魅力を再発見するローカルメディア「ミーツ」は、水海道駅周辺のにぎわい創出に係る取組の一環で制作されました。常総市公式noteでは、さらに「ミーツ」に掲載されなかった写真や、海老原さんのインタビュー全編を読むことができます。また常総市公式SNSでは、最新の常総市の情報をチェックできます。ぜひこちらも合わせてご確認ください！

※掲載されている内容・名称等はすべて発行当時のものです。現在とは異なる場合もありますので、予めご了承ください。※掲載店舗や施設は休業・休館となる場合がございます。お出かけの際は最新情報をご確認ください。※掲載されている内容には私所有も含まれています。マナーを守りましょう。

常総市
公式note



なんかいいかも
instagram



なんかいいかも
X



JosoCollective
まちに を、集めよう。

meets[ミーツ] vol.0 2025年2月10日発行 発行元:常総市 企画・プロデュース・制作:株式会社ひらく デザイン:KS ART DESIGN OFFICE. お問い合わせ先:常総市産業振興部 商工観光課 Tel.0297-23-9088

水海道の魅力を再発見するローカルメディア

meets

2025
SPRING
TAKE FREE



vol.0

ISSUE

水海道の歴史に出会う。